

1. 件名：川内原子力発電所及び玄海原子力発電所の地震等に係る新規制基準
適合性審査に関する面談

2. 日時：令和5年5月19日（金） 14時00分～14時25分

3. 場所：原子力規制庁9階耐震会議室

4. 出席者（※：テレビ会議システムによる出席）

原子力規制庁：佐口上席安全審査官 谷主任安全審査官、西来主任技術研
究調査官、鈴木安全審査専門職、井清係員、松末技術参与、
田島主任技術研究調査官※

九州電力株式会社：土木建築本部 副本部長 他2名

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

6. 提出資料

- ・標準応答スペクトルを考慮した地震動評価における地下構造モデルの対応方針について（川内原子力発電所）

時間	自動文字起こし結果
00:00:01	はい規制庁地震津波審査部門の鈴木ですそれでは時間になりましたので九州電力との面談を始めたいと思います。
00:00:10	資料としては、本日付で標準応答スペクトルを考慮した地震動評価における地下構造モデルの対応方針これ仙台ですね。
00:00:19	こちらが出てきていますので少し方針を大きく変えるという形でのご説明があるというふうに伺っております。それじゃまず資料の方の説明をお願いします。
00:00:34	はい。九州電力の明石でございます。ご説明お手元の資料を基にご説明させていただきますが、今、須佐さんからもありました通り当社としての、
00:00:46	仙台の地下構造モデルの方針、まさに大きな方針について、社内議論の経営トップまでの判断として方針、
00:01:00	改めて取り直しましたので、ご説明をさせていただきます。
00:01:05	お手元のペーパー要は当社の方針変更決断に至る流れというイメージでご説明、神尾とさせていただいておりますがまず、
00:01:15	2月10日の審査会合におきましていただきましたコメントといたしましては、既許可モデル、要は長周期体における理論的手法に用いる地下構造モデル。
00:01:26	をそのまま用いた場合に観測記録と整合するかどうかという確認をした上で、
00:01:32	浅部の地盤、地盤減衰等々を、どのように見直しを対応するのか速やかに説明しなさいというようなコメントをちょうだいしておりました。
00:01:41	その後、
00:01:44	また、当社といたしましては見直す方向で検討を進めましてヒアリング資料等も当社のヒアリング資料を消させていただいておりますが、それを踏まえた上で4月28日の審査会合にいただきましたコメントといたしましては、
00:01:59	そもそも、我々ヒアリングでのご説明が、地下構造モデルを見直しますという単なる方針の域を出ておりませんでしたので、
00:02:09	使うコードモデルの構築に係る論理構成でありましたり、観測事実を再現できるという成立性でありましたりそういう根拠を具体的に示すようにと。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:02:20	いうコメントをちょうだいいたしますとともに、そもそも、現在予定しているスケジュール通りに進まなかった場合、地下構造モデルを既許可のモデルにするという対応は考えているか、念頭にあるかと。
00:02:35	というようなご質問もいただいております。
00:02:38	これのお話聞いも踏まえながら、以降社内経営トップまで議論を重ねた結果、
00:02:47	鹿野、下の二重枠の中の通り、大きな大方針、
00:02:53	今日、固めたところでございます。まずは二つの場をご覧くださいますと、4要素としては大きくは二つございますけども、
00:03:04	まず、既許可の地下構造モデルと、速度構造を見直した地下構造モデル、これによって観測記録のいわゆる再現、
00:03:14	カバーをやってみたところ、そのカバーの場合は同程度であるという、いう状況にあると、これはヒアリング資料でもご提示させていただいたところございました。
00:03:25	さらに、速度構造を見直す場合具体的には一番下の右側、見直しモデルと書いておりますけどもそのような構造にする場合、
00:03:35	取得している地下深部の地盤物性データがやっぱり限られている。これ何を言ってるかといいますと、見直しモデルの下から3段目、
00:03:44	ELでいきますとマイナス200から480の範囲ですけどもここ、
00:03:49	設定根拠として、上下層の速度をもとに設定と書いております。これはヒアリングでもご提示させていただいたところがございますけども要は、
00:03:59	これ、200より下は、今回これまで地震観測記録等を行っていない領域でありさらに、
00:04:09	今回追加で行いましたボーリングも200メートルまでですので、直接的に見てとれてるデータがないという領域なんですけどもそこについて、
00:04:19	データがないからということで、
00:04:21	既許可のままを踏襲すると、例えばVsでいきますと左側の既許可モデルをご覧くださいただければわかります通り、Vsは1600という値になる、仮にこれを用いると。
00:04:32	見直しモデル上から150021501600に戻ってまた2150に戻ると。
00:04:38	言うてるこの何かおかしなモデルになるので、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:04:41	ここはやっぱり上下層と合致するような、徐々に深くなるごとに硬くなるようなモデルにすべきだろうと、いうことで、見直しモデルの形を考 えてたんですけど、そのの、
00:04:54	2150年の数字が直接データがあるかというとなんかという状況ですので、 それで妥当だというご説明を今後やっていくにあたって、やっぱりそこ は時間後、
00:05:05	要する何よりもかなり宇都生追加データの取得みたいなことにもなりか ねないと。
00:05:11	いうことを踏まえると、やっぱり見直しでいくとなると相当やっぱり、
00:05:16	時間がかかる可能性があるということで、
00:05:20	上のポチに戻りまして社内の議論といたしましては、当社としてやらな ければならないことは何なのかと。
00:05:27	いうことで、経過措置期限というものも考慮した上で、迅速に、標準応 答スペクトルを考慮した評価をやって、
00:05:36	安全裕度の向上を図る、これやっぱり我々、当社がなされなければならないこ とであるという観点に立ちまして、もう既許可の地下構造モデルを使用 するという方針とすると。
00:05:47	いうことで判断をいたしました。
00:05:50	本日はその方針についてご説明に上がった次第です。
00:05:55	なお、裏目資料の裏面には、これ先般の4月28日の審査会合で提示さ せていただきましたスケジュールをそのまま付けさせていただいております。
00:06:08	上段が仙台下段が制限会で特に上段の川内につきましては、今ご説明い たしました方針に従って、ちょっとスケジュールを再整理してまたご説 明をさせて、
00:06:20	行かなければいられないと考えておりますが、
00:06:24	少なくとも、既許可モデルでいくという判断のもとモデルの
00:06:32	構築については無許可これまでの審査の中でもし、先ほどの審査の中 でもご説明させていただいたところもありますので、
00:06:41	それも踏まえて、
00:06:44	要は今方針の見直すという方針の場合は、方針を説明してそのあと地 下構造モデルの取りまとめという2段階で会合でご説明を考えてたこ ろこれも1まとめて、
00:06:56	1回でご説明をすると、いうことを

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:07:00	いう方針にああいうやり方にするにいたしまして、スケジュール的には半月程度前倒しするというようなスケジュールでいきたいと、いうふうに考えております。
00:07:11	その辺は線表をまた書き直しましておって、ご説明をさせていただきたいと考えております。
00:07:20	ざっとですけども大きな方針見直しについてのご説明は以上でございます。
00:07:29	はい。説明ありがとうございます。
00:07:34	基本的にはもう近く結論は地下構造モデルは許可のものを 사용합니다 というそういうことですね。
00:07:41	はい。ちょっとそこで 1.2 点確認させてもらいたいんですけど、一応今日の説明資料のところですよ。地下構造モデルはもともと我々、
00:07:51	許可からまだあいてないで買えるんですかみたいな話は再三やっていて、最終的に高評価に戻しますと、もっと同じものを 사용합니다 という話ではあるんですけど、
00:08:02	ちょっと窪の資料で言うと 20 若生が込みですかね。
00:08:06	以下を踏まえというところで、この前のヒアリング、一応ヒアリング 1 回資料は出てきていて、見直し後のモデルでですね、そのときの説明だと、
00:08:18	許可の地下構造モデル、で一旦やってみるってそれでも観測記録の
00:08:24	幅に来ないんでちょっと速度構造を見直しますと、いう話をして、見直した方が良くなるんですよと、そういう趣旨の説明だったんですけど共著同程度ってなっていてですね。
00:08:34	我々としては、その 3 者比較されたものをまだ見せてもらっていないので、こちら側としては別にその同程度だったのか、どちらの方がよかったのかみたいな話は説明聞いてないのでわからないんですけど、
00:08:47	一応御社としてはここは変えてきたってということなんですかね。
00:08:52	速度構造変える方がいいですよそっちの方がよくなるんですよというような説明をしようと前はしてたような気がするんですけどそこは同程度と言ってるので、我々も見えないんでこちらとしては、そっちも判断しないんですけど、
00:09:05	ちょっとそこも含めて変えてきたんですかこれ。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:09:09	九州電力の明石でございますそこについては、すいません説明というか酸素を変えたというつもりはないんですけども、前回ヒアリングの時も私がお答えしました通り、
00:09:21	コンマ1秒をという観測記録の方が上回ってしまいますという部分。
00:09:27	についてのカバー度合い、
00:09:30	については、要は
00:09:34	ピークをシフトさせて速度構造を見直した方が合い具合は良くなると、 ということでそこだけに着目すれば、Ai 具合は改善されると、いうふうに 考えているんですけども、要は、
00:09:45	ただ地震動評価全体としてその他の周期体、
00:09:48	も含めて全体を眺めてみると、やっぱり既許可モデルの方に減衰が小さく、保守性、
00:09:55	がありましたり、先ほどちょっと話が戻りますけども、1 速度構造を見直した方がUI は改善されるとは言いながら、やっぱり見直した場合も、観測記録が超えてる場合、
00:10:08	観測記録はいくつかありまして、結局、
00:10:11	どちらも観測記録が上回ってる一ものがあるという地震の数、上回ってない完全にカバーできてるのが大体8割ぐらいと。
00:10:23	ということで、どちらもちょっと
00:10:27	カバーできてるできてないの観測記録はそれぞれなんですけども、結局トータルで見たらどうなのっていうカバー度合いで見ると、両方とも8割ぐらいということで、結局トータルで見るとそんなに変わらないじゃないというところもありますので、
00:10:41	先般は、そのコンマ1秒に着目すると改善されますということでお話を してたんですけどもやはり地震動評価という観点で、全体を流れれば、 やっぱりこれは
00:10:51	同程度というふうに見るべきであろうということでちょっと当社の方で 当社の中の議論の中で頭の整理をし直したというものでございます。
00:11:02	はい、わかりましたか。
00:11:04	はい。そこどうぞ皆様これは説明に違うわかります。
00:11:09	ことですねはい。
00:11:11	阿藤と言いつつ、今回その見直しますと言って具体的にちょっと今後ど ういう進め方になるのかっていう話までは出てきてないんですけど、
00:11:21	ここはちょっとあらかじめ言ったいのはですね、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:11:25	その程度の違いはあれこれまでそのどこまで観測、記録でしかも乾燥記録とれてる範囲も地下構造モデルのうち、かなり浅い方だけですよね。
00:11:36	その結果をもとにどこまでそこに、はい。べきなのかっていうのももちろんあるんですけど、一応これまでも
00:11:43	乾燥記録が多く取れましたよという話もしてきたわけなんで、この辺りとの関係ですとか、或いは、もともとその
00:11:51	今回の地下構造モデルの位置付けとして、当然清カーと同じに戻しますと言っても共管許可の地下構造モデルのうち地震計倍浅い部分だけを使いますと言ったとしても、
00:12:03	長期4日ではやっぱり長周期側の地震動評価に使って使っていました。今回は全周期に使うんですっていうと、戻しましたイコール、あと説明が要りませんというものではないので、当然そこの準備はされていると。
00:12:16	ということでそれはよろしいですか。
00:12:20	はい九州電力の明石でございます当然当社としてもそこの認識をしております、もう地下構造モデルと企画をモデルにしたから、もうあとはいいでしょというつもりはございません。
00:12:32	まずは、もう、そもそも既許可モデルは既許可モデルという言い方をしておりますけども当初、申請書の中では長周期に用いるモデルであると。
00:12:44	いうふうにお示ししておりましたのでそれが短周期に使えるのと、いうことはちゃんとご説明しなければならぬと考えております。ちなみに、先ほど来申し上げておりますけども、
00:12:55	減衰かなり1ためにとっておりますのでそれによって短周期側もかなり保守的な評価になるモデルになっておりますのでその辺をご説明すると、いうことになるかなと考えております。さらに、
00:13:07	これは見直そうが、モデルを見直そうが見直すまいが、既許可以降に出てきた観測事実を照らして、まさにモデルの整理性というものはご説明しなければならぬと。
00:13:20	考えておりますので、
00:13:23	これは一つは地震観測記録に対してさらにPS検層等も、ボーリングを掘ってPS検層等もやっておりますのでそれに照らして、また後なものである要は、
00:13:34	それらの事実に対して過小評価を招くようなものではないということはいしかりご説明をさせていただきます今その辺のちょっと説明仮称資料としての隣、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:13:46	今日準備しておりますので、整い次第、提示させていただいてご説明をさせていただきます。以上でございます。
00:13:56	はい、わかりました。て今日の段階だとこの裏面にあるですね今後のスケジュールということでこれはあくまで4月28日の会合で出ているものなので、
00:14:07	限界も微妙にこのスケジュール通りに今資料が出てきているわけでもないですし若干ずれてますけどね、仙台についてはここから変えてくるということになるんですけど、
00:14:19	その辺りはまだ当然今説明の資料を準備していますとはいえ、
00:14:26	どういう社内で見通しを持って進めていこうとしているのか。
00:14:31	ちょっとそこの辺りをもう1回説明してもらっていいですか。
00:14:36	九州電力の明石でございます。スケジュールについては正直なところを申し上げますと、今、鈴木さんからありました通りちょっと仙台のドタバタ待って限界がちょっと若干遅れぎみに来てしまっているということ。
00:14:49	で、一方ちょっと仙台も資料のまとめと注力はしてるものので、
00:14:55	要は玄海仙台どちらかという、川内が玄海の1と2本遅れだったのものを川内をもうちょっと前倒しすることになりますので、結果、
00:15:05	両方の作業がかぶってくると、ということでちょっと、
00:15:08	要は今日の時点でしっかりスケジュールご提示できてないのは玄海川内両方のその絡みを踏まえながらペースを踏まえながら、資料提出と介護の見通しあたりがどうなるかというのをちょっと落そうとして落としきれない。
00:15:22	というのがちょっと正直なところはございます。
00:15:25	で、さはさりながら千田伊井の資料については、
00:15:29	あんまり希望的観測で言うと、また遅れちゃってはいけないと思いながら何とか来週には提出できないかと、ということで社内、出野作業を進めているところ。
00:15:39	でございます。ですので、来週資料を、仮に、仮にという言い方おかしいんですけど、提出させていただけたとして、そこから1回2回ヒアリングをお願いできれば何とか6月のどこかで、
00:15:53	センターについての会合をに辿りつければというふうに考えているところでございます。
00:16:01	以上でございます。
00:16:03	はい。ちょっと待ってくださいね。仙台だけをうちは見るとですね。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:16:08	今5月の中下旬基準に差しかかっているところですけど、これがもともとは地下構造が6月の終わりぐらいに、
00:16:17	二段階に分けてですけど、
00:16:19	御説明事言っていたものを、
00:16:22	今の感じだと、これから資料を出してきて説明をして会合で何回に分けないってイメージ持たれているのかもしれないんですけど、
00:16:31	結局地下構造として御社として説明固めようとしている時期としては、
00:16:38	6月のどこかという話なんで、今4月28日の会合で出てきている仙台のスケジュールの地下構造を決めたいですと言ってる時期とそんなに変わらないですよ。
00:16:49	その一方で、ただ地下構造は、既許可のものと変わらないんだとすると、もしかすると多分地震動の
00:16:56	計算としては、別に何か新しいものが逆になかったり、或いは許可の地震動評価への影響という、そもそもそれ自体が、
00:17:07	説明がいらなくなって、
00:17:10	そこで少し何とか物を、
00:17:13	削れるというか、
00:17:15	そういう、
00:17:16	発想で、基準地震動が決まる時期というのは、でもこれもなかなか、
00:17:22	もともと地下構造あってから1ヶ月後基準地震動って結構かなりハードル高いスケジュールなので、少なくともこれよりは遅れないイメージはつくんですけど、
00:17:32	大幅になんか前倒しになって限界とかぶるっていう、
00:17:36	イメージはあんまり持てない、医師逆に言うと、何か限界が
00:17:42	本当にこのスケジュール通りにいくのかということも若干不安ではあるんですけど、
00:17:47	はい。何か大幅に前倒しされて玄海戸高ぶりになるとするほどではないんですよ。
00:17:53	多少今イメージされる場所は今申し上げたようなところで、何か時基準地震動を決めるときに、新たに解析だったり、評価基準DCのような影響みたいなその説明いらなくなるというか、
00:18:06	そういう部分があったりとかってその辺ぐらいかなと思いますけど。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:18:12	はい。九州電力の明石でございます。おっしゃる通り植木仙台は極前倒したいというのはまさにしたいと考えているところでございまして実際問題、水木さんおっしゃるように、
00:18:23	ここまではな。これよりは若干なりとも程度に結局なってしまう。
00:18:28	のかなとは思っております。とはいいながら、この今、
00:18:36	資料の裏面にあるようなスケジュール、2年に遅れなければいいかというのは、腹づもりでやってると、結局当社の準備EIまた遅れてしてしまいかねませんので、
00:18:47	極力前倒しで行けば行くんだと、いう腹づもりでは準備を進めたいと考えております。以上でございます。
00:18:56	はい、わかりました。ちょっとそのあたりですね。
00:19:00	仙台の方が一番、もともと4月28日にかなりこれ本当に実現できるんですかと言っていたところに、
00:19:09	対して、多少このそのスケジュールぐらひは何とかなりそうだというのはあるんですけど、そうしたときにちょっと限界と2頭をいくのか限界、そのどういう順番で、何をどういう順番でやっていくのかってのはまさに今検討中だと思いますので、
00:19:25	そこら辺はよくよくまた考えてスケジュールを持ってきてくださいと。
00:19:30	いうことだけ申し上げておきます。
00:19:32	等は何か、
00:19:37	あとは当然ながらですねこういうような話になってくると、許可段階での設計の話。
00:19:45	設計方針の話みたいなのは、あまりその許可段階で何かそのどの設備にどう影響するみたいな話をご説明、許可の手続き上ですね書類に書くようなものでもないと思うんですけど、
00:19:56	他方で、どこかのタイミングでこれも玄海川内ともに、当然地震動等にはプラントの審査もあるわけなんで、そこら辺我々に対してというこの今の審査のですね、決めたグループに対してというよりもプラント側の方をどこにはめ込む
00:20:11	てなのかっていうのは、これは言う、我々から言うまでもないことなんですけどそこは考えておいてください。
00:20:17	いうことかと思えます。
00:20:19	はい。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:20:20	ちょっとスケジュール的なものが今検討中ということであるのであくまでその方針としてこう変えますと説明は早くやりますという、今日それだけなので、
00:20:32	はい、ほかに何か聞いておきたいことある方おられますか。
00:20:43	規制庁佐口ですけど。
00:20:46	もう1回確認というか、多分これ今後説明していただくと思いますし、今日ちょっと明石さんの方から、
00:20:54	口頭ではご説明あったんですけどやっぱり今日のご説明資料のこの20加古、
00:21:00	二重の四角の確保が国の中の
00:21:04	一つ目のバーですね、これ多分、
00:21:07	ちょっと今日のご説明だと私は逆かなと思ったんですけど。
00:21:12	カバーが同程度でしかもそれって、
00:21:16	地震動全体として見ればなんか同じぐらいみたいなご説明があったんですけどこれって実は逆で、あくまでもその、
00:21:24	これまでのその審査会合で指摘をしている部分であって、この0.1秒から0.2秒ぐらいですね、このところがまだ大体同程度ぐらいなのかなと。
00:21:36	逆に言うと、その他のその地震動を全体として見ると、
00:21:42	実は、
00:21:43	評価モデルって、
00:21:45	いわゆるその保守的になっていて、見直しモデルって私も、やっぱり見比べてみるとですね以前のそのヒアリングを資料、
00:21:54	レベル感としてはやっぱり強化モデルの方が、大きくなってるので全体的になのでちょっとその辺りを含めて今後ご説明いただきたいと。
00:22:05	やっぱり
00:22:06	これまでの先ほど鈴木の方からも少し
00:22:11	確認してましたけれども、
00:22:13	これまでのその会合とかの議論を踏まえて、既許可モデルだったり今回の
00:22:20	モデルの位置付けて、もうお示ししていただいて、やっぱり、
00:22:25	聞き込むっていうのは、あくまでも工長周期側の、
00:22:29	地震動
00:22:30	を目的というか対象として作ったモデルであって、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:22:34	やっぱり今回は短周期側も含めて、ちゃんと
00:22:41	評価できるようなモデルを新しく作るというそういう位置付けだったので、
00:22:46	そうすると、既許可モデルに戻せばいいのかっていうと、やっぱりそ、それってやっぱり慣習きの持って、ちゃんとさ、再現できるっていうか評価できるようなモデルじゃないよねそもそもっていう話が多分出てくると思いますので、
00:23:00	そこは、
00:23:02	評価という、何ていうんすかね、精度よく評価。
00:23:07	ていうんじゃないくてそこは、
00:23:09	ある意味その保守性、
00:23:11	を持ったモデルっていうような、
00:23:14	多分そういう、
00:23:15	お話かなと、ちょっと私は今日お話を伺っててそう思ったので、そういったこれまでの審査会合でのその位置付けの説明とか、
00:23:26	そういった関係も含めてですね。
00:23:28	ちょっと今後をご説明していただければなと思いますので、そこはよろしくをお願いします。
00:23:34	はい九州電力の明石でございます。位置付けでありました補正を持つてるという考え方でありまして、今沢木さんからもお話あった自営ところで、我々も理解としては
00:23:47	他はないところでございます。で、ここどうて、資料の同程度と書いてるのはやっぱりそのモデルを見直すという思いを持ってやってた我々もちょっと気持ちも入り過ぎてるところはあるかもしれません
00:23:58	冷静に眺めればコンマ1dBを見てもそんな変わらないじゃないと、言えばやっぱりそうその通りだと思いますし、やっぱりこれは先ほど私申し上げた通りで一方菊川モデルはもう、
00:24:10	ごく短周期に行けば行くほど減衰の効果もあってガバッと保守的になってますので、やっぱりトータルで見ると保守性という観点でやっぱり効くは、既許可モデルに分があるのかなとは考えております。
00:24:22	その辺の保守性も含めてその位置付けとあわせて、ちょっとしっかり整理してご説明させていただきます。以上でございます。
00:24:36	はい。
00:24:37	よろしいですか。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:24:40	では他、
00:24:42	田嶋さんもウェブですけど、特に今日大きな方針の変更という話で具体的な説明はまた今後ヒアリングは行ってからということなんで、特に何かなければ以上で終了したいと思います。
00:24:57	規制庁の田嶋です特にございません。ありがとうございます。
00:25:02	はい、わかりました。それでは、本日の面談は以上で終了したいと思います。お疲れ様でした。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。